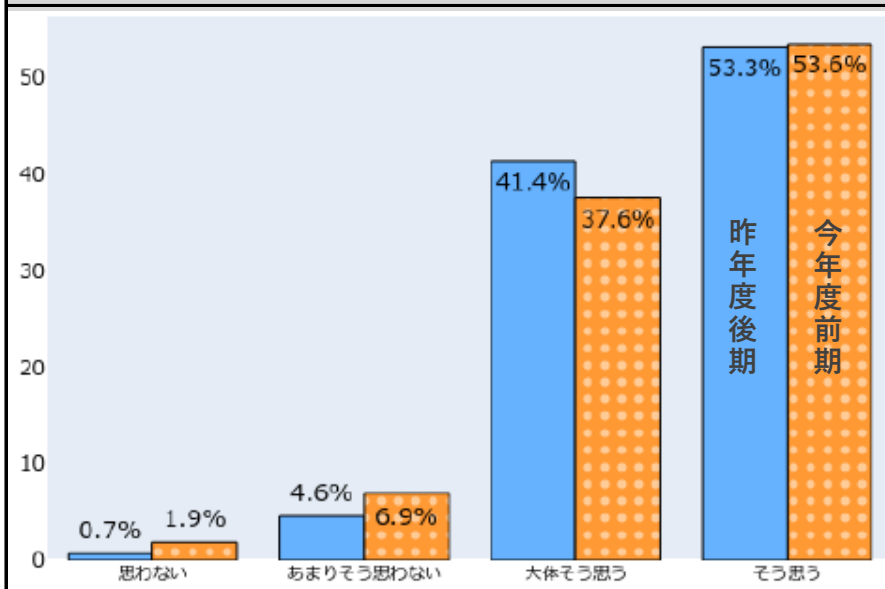


## 前期アンケート(1/4)

### 生徒

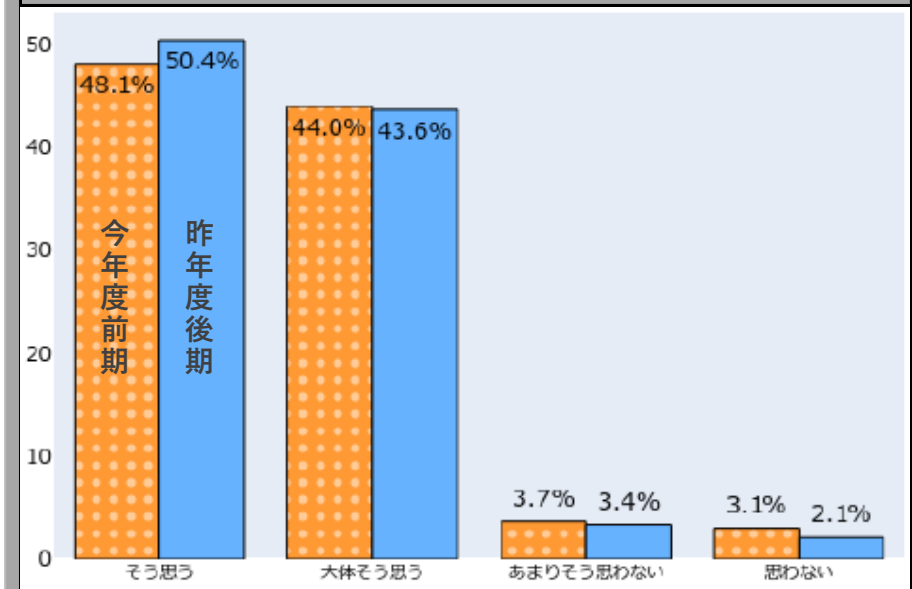
#### 学校に行くのは楽しい



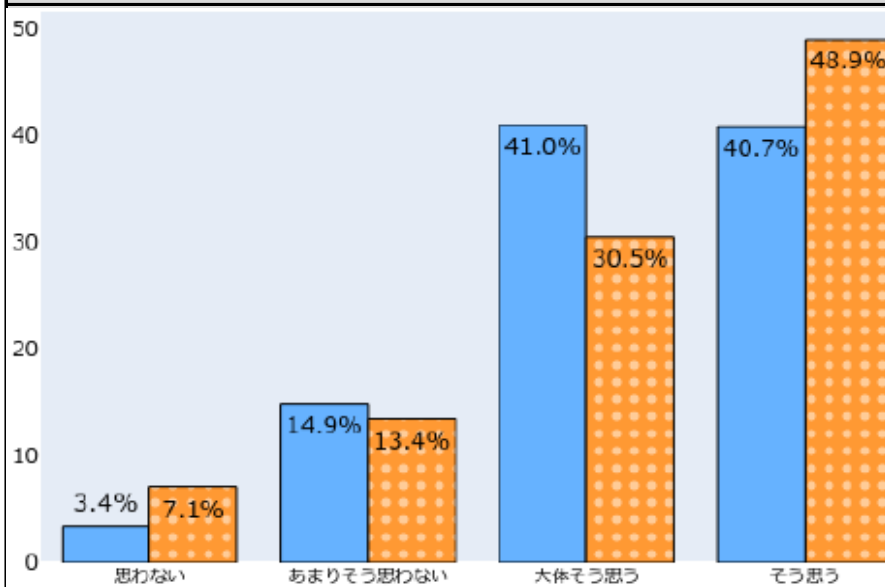
保護者と生徒の認識に、大きなずれはありません。生徒が学校で楽しさを実感するには、仲間や教職員とのあたたかい繋がりや信頼関係など、心理的な安全性や安心感を感じられる空間であることが必要条件です。そのことを再確認し、今回否定的な回答をしている約10%の生徒たちにとっても、楽しい学校づくりに努めます。

### 保護者

#### 子どもは安心して楽しく登校している

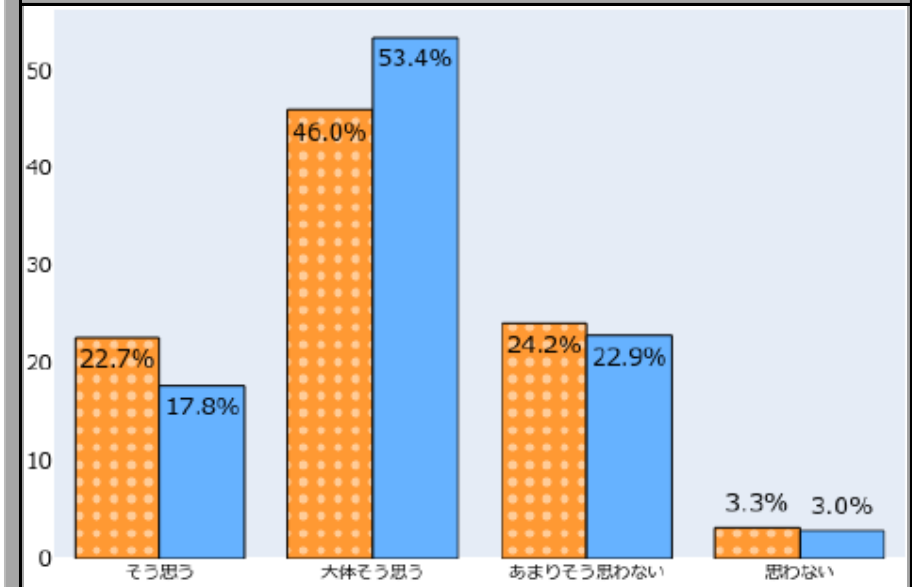


#### 夢や目標がある



大人が思っている以上に、生徒たちは若者らしい輝く夢や志、目標をもっていることがわかります。夢は前向きに生きるための原動力になります。5人に1人が否定的な回答になっていることを重く受け止め、多様な学びを通して、一人一人が自分らしさを発揮し、次代や自らの未来の担い手となる姿勢や力を大切にして教育活動に取り組んでまいります。

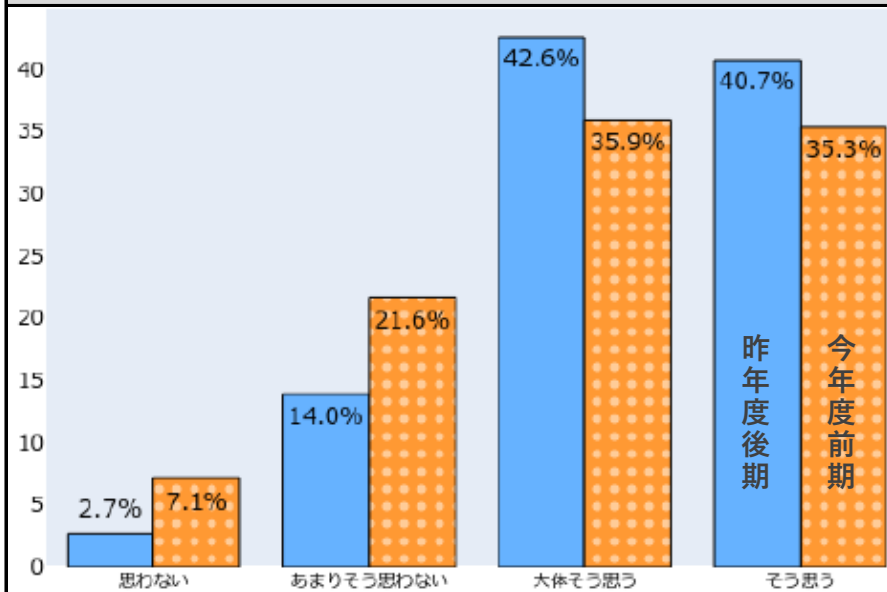
#### 子どもは、夢や目標をもっている



## 前期アンケート(2／4)

### 生徒

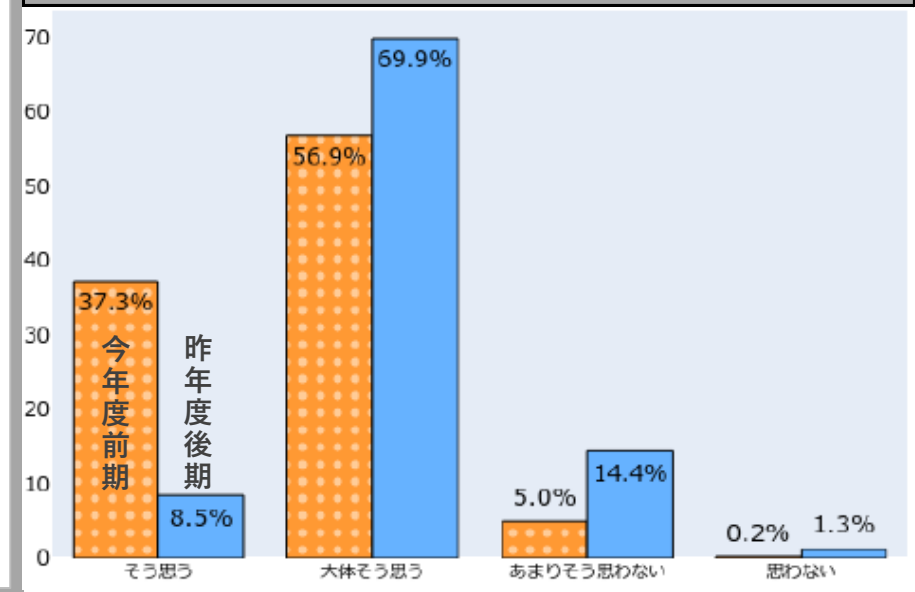
#### 将来について、家でよく話をする



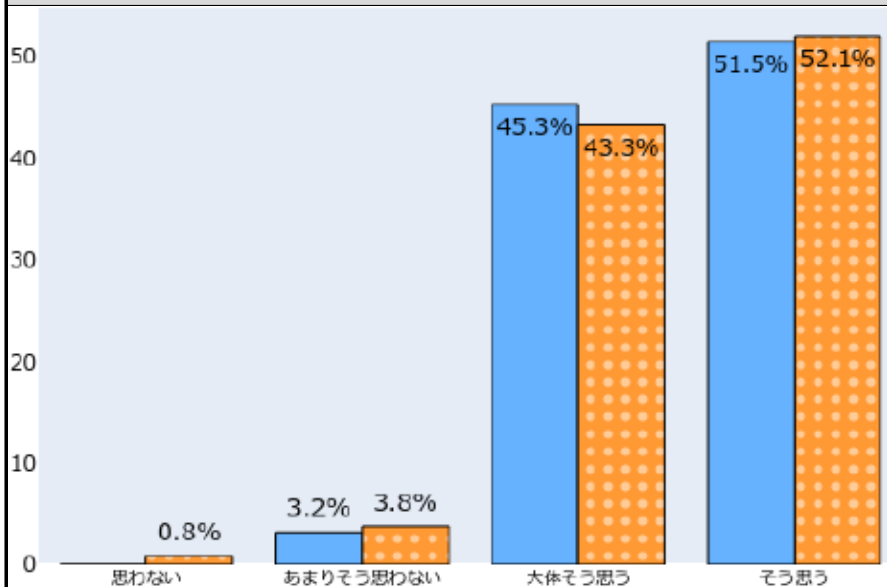
家で将来のことを話していると認識している生徒が、昨年度に比べ減少傾向にあることが気になります。家庭での親子間コミュニケーションの有無や内容が、学習意欲や学業成績に作用したりするという研究結果もあります。学校としまして、ご家庭での会話、対話を生む働きかけを行っていきます。

### 保護者

#### 家庭では、子どもの表情や生活を確認し、会話をしている

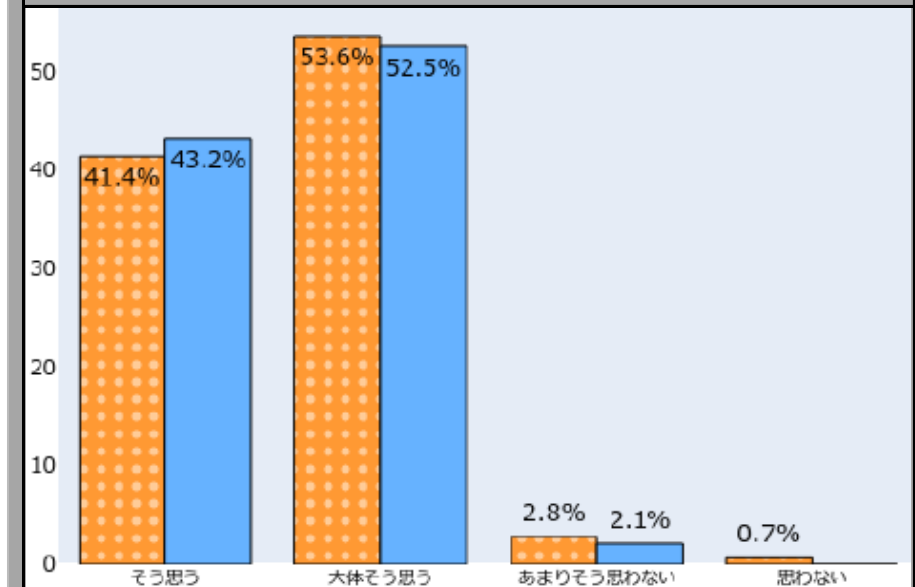


#### 人の考えを尊重し、協力している



本校では「自分らしい生き方を探究する」ということを目標に掲げています。自分らしさの追求は、同時に他者らしさの追求でもあります。質問項目に対して否定的に回答している生徒を無視はできませんが、昨年同様、肯定的な回答割合がとても高いことをうれしく感じます。

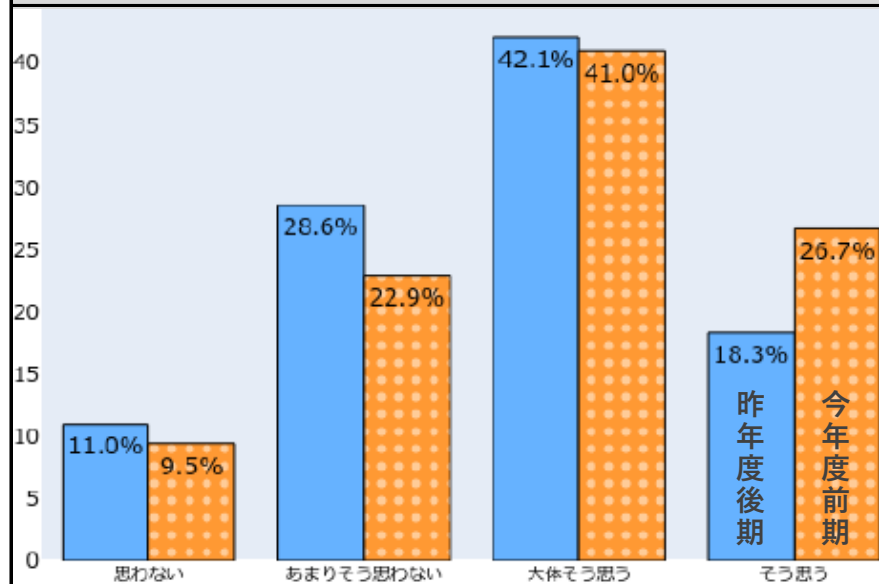
#### 子どもは、友達や周りの人を大切にしたい行動ができている



## 前期アンケート(3／4)

### 生徒

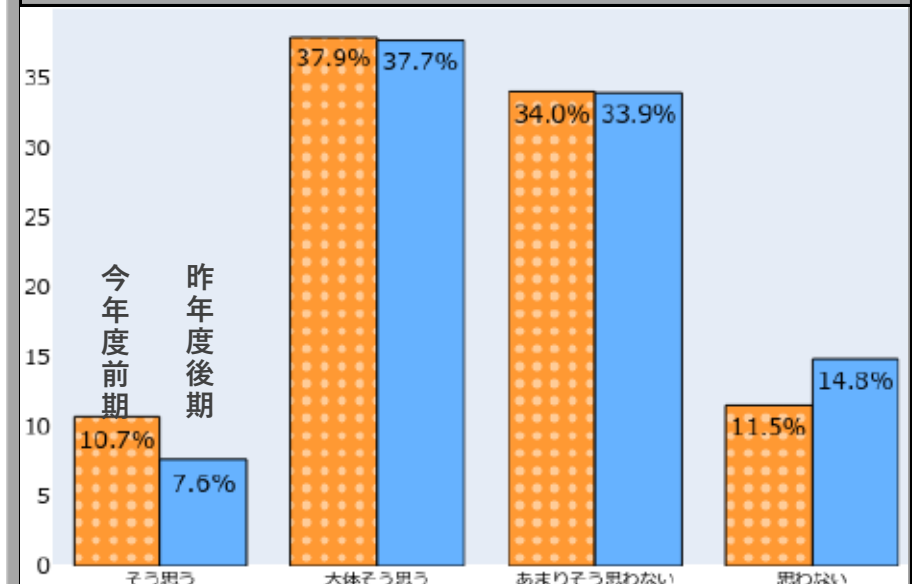
#### きらめき手帳を活用し、計画的に生活している



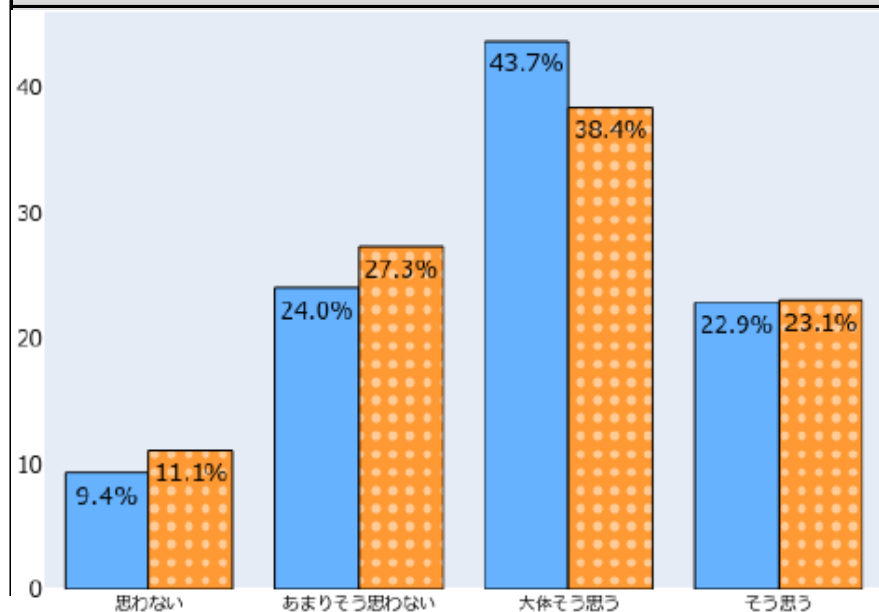
およそ半分の生徒や保護者の方が否定的回答になってしまっていること、また、その回答傾向が継続的であることを重く受け止めています。手帳を用いた具体的なスケジュール管理の手法や無理なく計画的に過ごしていくことのよさへの気づきをご家庭と連携しながら促していければ幸いです。

### 保護者

#### 子どもはきらめき手帳等を活用し、計画的に生活している

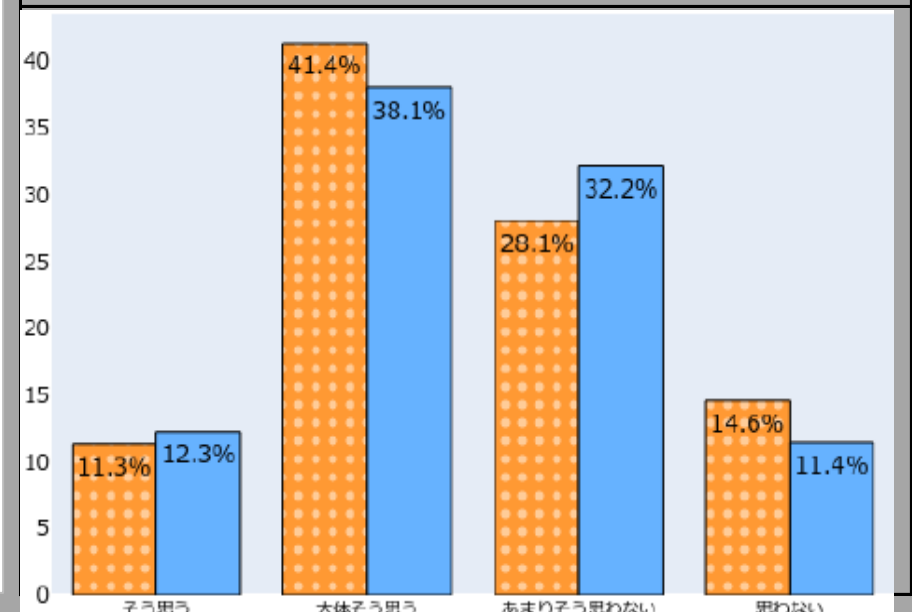


#### きらめき家庭学習に前向きに取り組んでいる



今年度、きらめき家庭学習の在り方について、生徒とも対話を重ねました。自分の学習状況やスケジュールを調整しながら取り組めるよう、実施方法や実施回数を見直しています。自学自習の習慣化は、将来、社会生活を進めていく上で重要な力です。効果を実感できる取組にすべく、ご家庭でもお声掛けいただくと幸いです。

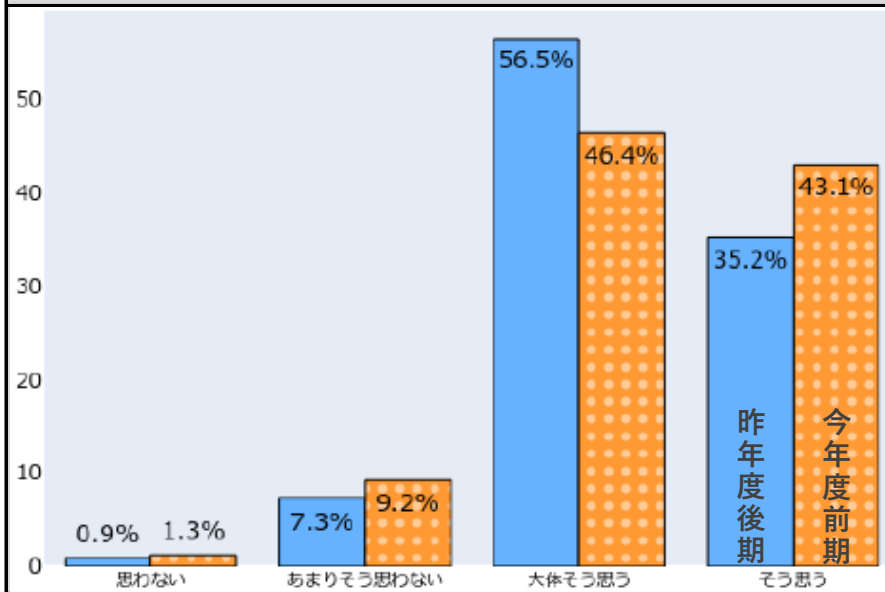
#### 子どもは、きらめき家庭学習に前向きに取り組んでいる



## 前期アンケート(4/4)

### 生徒

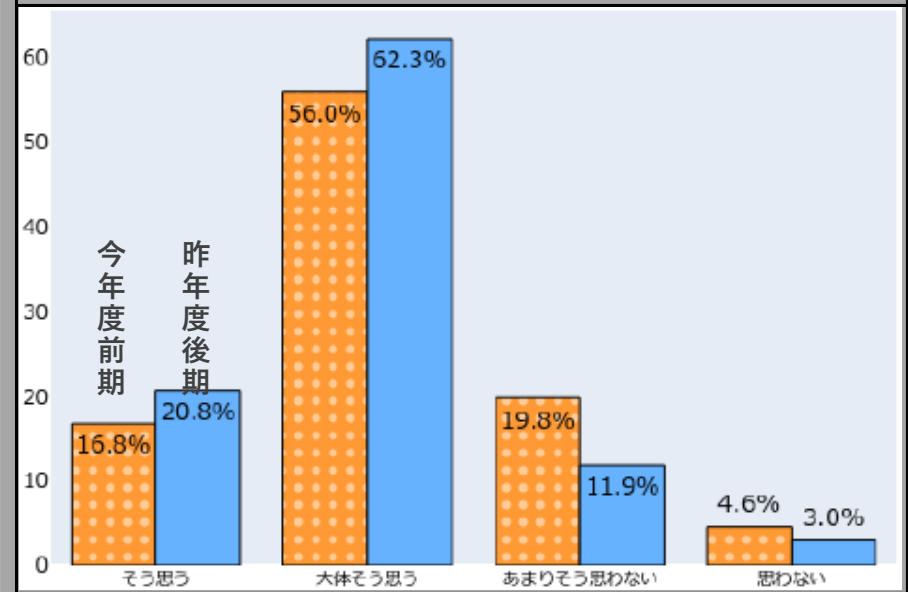
授業で考えを深めたり、広げたりしている



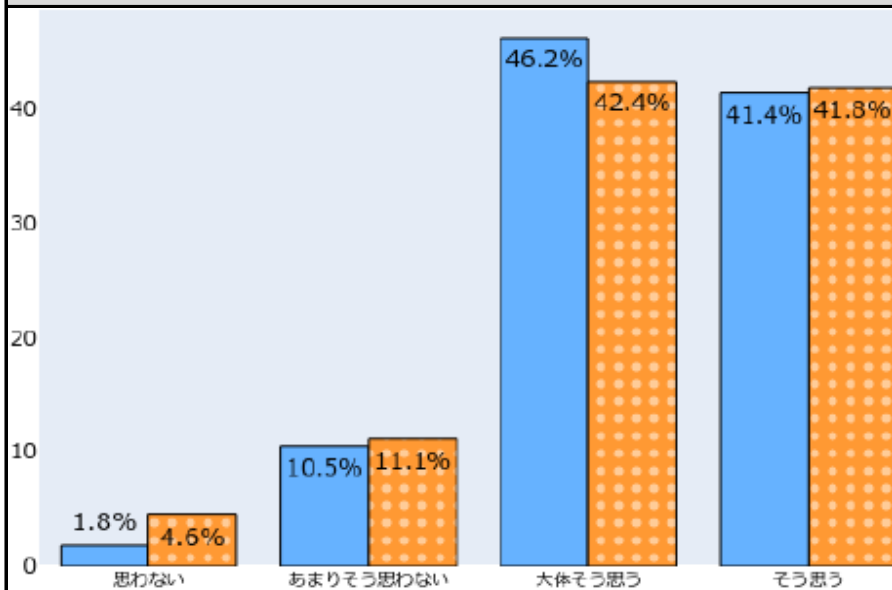
もっとも肯定的な回答が増加している一方で、否定的な回答も微増しています。様々な行事や取組も大切ですが、なにより、日々繰り返し行われる授業こそが、新たな見方や考え方、資質・能力の伸長にとって重要であることは言うまでもありません。このことを深く自覚し、更なる研修、研鑽を続けてまいります。

### 保護者

子どもは、学びを通して考えを広げたり、深めたりしている



自分には良いところがある



こちらは回答を比較する内容ではありません。各質問に対して、自分の認識と比べていただければと思います。この質問に限ったことではありませんが、質問に対して肯定的な回答の割合を高めていくにはどうすればいいのか、それぞれの立場から考え実践していくことが子どもたちが生きる未来社会をよりよいものにしていくにちがいはありません。

子どもは、PCやスマートフォン、SNSなどの利便性や危険性について理解している

